

## 戦争準備の日米合同訓練反対！ 弾薬庫建設・ミサイル配備ゆるさない市民集会

とき **10月12日(木)** 午後4時30分～5時15分  
デモ行進：5時20分から予定  
ところ **沖縄市胡屋十字路口** 主催：市民集会実行委員会

構成団体

第4次嘉手納基地爆音差止訴訟原告団・弁護団 自衛隊の弾薬庫等建設に反対する沖縄市民の会 ミサイル配備から命を守るうるま市民の会 中頭退職教職員会 中部地区労・中部地区労OB会 沖縄市職員退職者会 沖縄民主商工会 第3次普天間米軍基地から爆音をなくす訴訟団 ノーモア沖縄戦 命どう宝の会 沖縄県統一連 (連帯)沖縄を戦場にさせない与党県議団

沖縄県民が日々、際限のない軍備増強に不安を抱いているなか、来る10月14日から31日にかけて「日米合同軍事訓練ーレゾリュート・ドラゴン23」が実施されます。南西諸島を中心に米軍、自衛隊あわせて約6,400人が動員される過去最大規模の実動訓練です。

この訓練では、陸上自衛隊の物資をホワイトビーチ地区から嘉手納基地まで「公道」を使って輸送することが計画されていますが、これは港湾・空港などの使用と同様、民間施設の使用の常態化を図るものにほかなりません。そして何よりも南西諸島のミサイル前線基地化の動きと連動した新たな戦争を準備する訓練であることは間違いありません。

現在、うるま市勝連分屯地では、地対艦ミサイ

ル配備及び地対艦ミサイル連隊本部創設にむけた工事が急ピッチで進められており、沖縄市池原の陸自沖縄訓練場では来年度から弾薬庫5棟の建設が進められようとしています。配備されるミサイル・弾薬はいずれスタンドオフミサイル(敵基地攻撃能力ミサイル)に置き換わり、米軍指揮下の「統合防空ミサイル防衛 (IAMD)」に組み込まれていきます。先制攻撃を行えば、結果、報復の標的となり、沖縄(日本)は再び戦場となるのです。

嘉手納基地、ホワイトビーチ、陸自基地を拠点とする一連の動きは、私たち市民の命と暮らしを脅かすものであり、決して容認することはできません。子や孫、未来の世代のためにも、日米合同軍事訓練反対の大きな声をあげていきましょう！

「市民集会」への参加を心から呼びかけます。



市民の抗議行動によって70数台の自衛隊車両が中城湾港東埠頭に閉じ込められた。(キーン・ソード23、2022年11月8日)



来年3月までに勝連分屯地に配備される地対艦ミサイル



弾薬庫5棟が建設される予定の陸自沖縄訓練場

# 基地が集中する中部で実施されるレゾリュート・ドラゴン23

## 嘉手納飛行場及び嘉手納弾薬庫地区の使用

ホワイト・ビーチから輸送した陸自補給品を嘉手納飛行場から嘉手納弾薬庫地区へ輸送し、陸自CH-47、米MV-22等に積み替えて、瀬戸内分屯地(奄美)に輸送する共同兵站訓練が実施される。その際、嘉手納弾薬庫地区の一部の地域を陸自車両の駐車場、作業場及び宿営場所として使用。また、瀬戸内分屯地からMV-22により嘉手納飛行場へ患者を輸送する共同衛生訓練が実施される。



## ホワイト・ビーチ地区の使用



大分分屯地から役務車両及び役務船舶によりホワイト・ビーチに輸送した陸自コンテナの荷役、日米の車両への積載を実施し、嘉手納飛行場へ陸上輸送する共同兵站訓練が実施される。

### その他、県内で実動訓練が実施される自衛隊・米軍基地

陸上自衛隊那覇駐屯地、陸上自衛隊南那覇駐屯地(那覇病院)、航空自衛隊那覇基地、航空自衛隊久米島分屯基地、陸上自衛隊石垣駐屯地、陸上自衛隊与那国駐屯地、牧港補給地区、那覇港湾施設、出砂島射爆撃場

### 県外で実動訓練が実施される基地

健軍駐屯地(熊本県)、高遊原分屯地(熊本県)、日出生台演習場(大分県)、十文字原演習場(大分県)、霧島演習場(宮崎県)、瀬戸内分屯地(鹿児島県)、矢白別演習場(北海道)

## キャンプ・コートニー及びキャンプ瑞慶覧の使用

陸上自衛隊の部隊が米軍基地に展開し、共同による基地警備訓練が実施される。なお、実弾は使用しないが、期間中、夜間訓練及び空砲を使用した訓練が行われる。



## レゾリュート・ドラゴン23で使用される主な兵器・装備

